

「渡良瀬川工事安全施工研究発表会」を開催しました

渡良瀬川河川事務所では、工事現場に従事する技術者が、現場で培った経験や安全に対する創意工夫について発表し、その貴重な情報を共有することにより、建設労働災害の根絶を目指した「工事安全施工研究発表会」を昨年12月6日に開催しました。

この発表会は、平成8年12月6日に長野県と新潟県境に位置する蒲原沢で発生した土石流災害（工事関係者14名死亡、9名負傷）を契機に、先の災害の教訓を風化させないため平成11年より毎年行っています。今年度は、足尾砂防出張所管内工事受注者の中村土建（株）が「H29久蔵口山腹基礎工事における安全対策」をテーマとし、見事最優秀賞を受賞しました。



具体的には、キーワードとして「リスクの低減」「作業環境の改善」を柱とし、現場で実践した内容について発表しました。

【リスクの低減】

- 施工前の社内検討会を開催
多種多様な立場・観点より現場に潜むリスクの洗い出し
- 急斜面でのリスク低減
法面での人力作業を極力少なくするため、無人化機械施工等の採用
- 落石防止対策
3重4重の万全な落石対策措置

【作業環境の改善】

- 週休2日制モデル工事
リフレッシュ効果で、魅力ある建設現場の創出
- 情報収集・連絡手段の確保
現場にWi-Fiを設置・無料通信アプリの採用により、気象情報入手・電話機能確保等
- 健康チェック・ストレスチェック
体調不良、精神状態の把握により不安全行動防止 → 事故防止に寄与

*なお、中村土建（株）においては、2月4日に関東地方整備局（さいたま新都心）で開催される関東大会に、渡良瀬川河川事務所の代表として発表していただきます。

平成30年は土砂災害発生件数が過去最多件数を記録

平成30年の土砂災害発生件数は3,451件で、集計を開始した昭和57年以降最多件数を記録しました（これまでは、平成16年の2,537件が最多）。また、集計開始以降における平均発生件数（1,015件）の約3.4倍を記録しました。

平成30年7月西日本豪雨、9月北海道胆振東部地震等多くの土砂災害が起こり、砂防の重要性が注目された昨年でした。今後も国土交通省では、防災・減災に向け取り組んで参りますので、ご協力の程よろしくお願い致します。

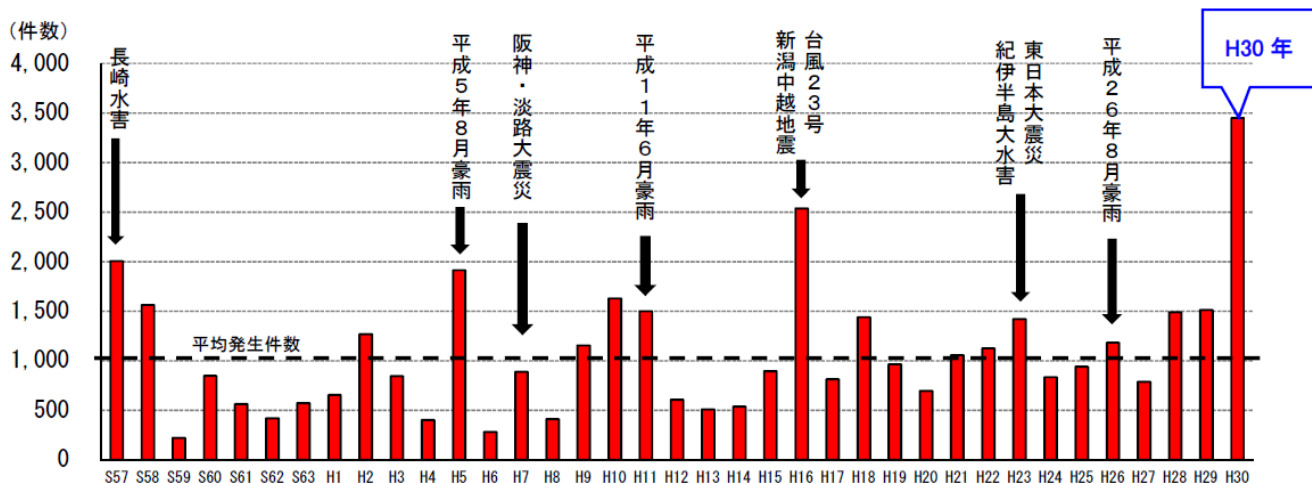


図. 土砂災害発生件数の推移 (S57~H30)

厳しい条件の中、工事現場は日々奮闘！



松木川一号砂防堰堤改築工事現場では、河川の水も凍り【つらら】ができています。コンクリートの冷害防止のためジェットヒーターを使い養生します。作業に従事される方たちは、寒さ対策を工夫したり冬期ならではの管理に気を配り、日々奮闘しています！！



ジェットヒーターによるコンクリート養生
※H31.1.23時点の情報です。

【足尾砂防出張所管内における現在施工中の工事】

No.	工事名	施工場所	工期	施工業者
1	H29松木川一号砂防堰堤改築工事	松木	H29.11.18 ~ H32.3.27	(株)浜屋組
2	H29久蔵口山腹基礎工事	久蔵	H30.4.1 ~ H31.3.29	中村土建(株)

《 工事関係車両の通行等により、ご迷惑をおかけしますがご協力お願い致します。 》

発行：国土交通省 渡良瀬川河川事務所 足尾砂防出張所
〒321-1513 栃木県日光市足尾町向原5-17
TEL 0288-93-2151 fax 0288-93-4087
渡良瀬川河川事務所ホームページ
<http://www.ktr.mlit.go.jp/watarase/>

